



COLLAGEN RESEARCH CENTER
1-10-1 Kamikiyoto, Kiyose, Tokyo 204, Japan

ヒトタイプIVコラーゲン 解説

1997 4 1作成
コラーゲン技術研修会

品番 K33 液状 (0.2%含有) K34 凍結乾燥品
含量 1mg
保存 -20℃、1年以上は-70℃
注意 保存剤無添加、凍結融解の繰り返し不可

由来 ヒト胎盤
製法 独自製法
ペプシン処理、酸抽出、濾過滅菌

性状 タイプIVの確認/プロットング
未変性の確認/CD (circular dichroism) 曲線
均一性/分子量7万-8万に均一な複数バンド/SDS-PAGE
細胞の接着性/自家細胞により確認

価格 1000μg/34,000-

用途 培養、ザイモグラム他

K-34
溶解: 0.01M 酢酸
あるいは 中性 PBS
で溶解します。



コスモ・バイオ株式会社

MCK社 コラーゲン溶解について

コラーゲンは2～8℃でゆっくり攪拌させながら行って下さい。



コスモ・バイオ株式会社